

図書館主催の鶴川図書館の再編に関する第2回目説明会の簡易記録

2023年2月12日14時30分～16時@鶴川市民センターホール

(Iさんが参加中にパソコン入力したメモより)

司会(図書館):本日はお集まりいただきありがとうございます。再編に関する説明。2月8日と同じ内容。記録作成のため録音。代表者の方の録音録画はご遠慮ください。

Sa:市は録音しても、市民はいけない? 司会:はい。

Sa:それは一方的。

司会:発言はお控えください。本日は16時まで。ご協力を。資料確認、スライドを印刷したホチキス止め。3月4日のイベントのチラシ。ご意見用紙。図書館長よりご挨拶。

皆様こんにちは、図書館長でございます。町田市では人口減・高齢化で税収が落ち込む中でも必要な公共サービスを維持、鶴川図書館が再編の対象となっております。その説明会を開催させていただきました。全市8館ある図書館の中では鶴川図書館が規模が最も小さい、50年の歴史。以前はひっきりなしに来館者があった。10年前から、利用減少。12年に鶴川駅前図書館が開館した。日本全体の読書離れ、コロナで来館者・貸し出し冊数が減少。ピークの時の3割以下ママになっている。鶴川団地はURによる商店街の建て替え計画。5年後には出ていく。再編をいい機会ととらえている。鶴川団地、名店街、青少年育成の委員会、民生委員、児童委員の協議会、学校関係、多くの方にご意見をいただいた。ワークショップも。今後の方向性を実現するために地元の方の力添えをいただきたい。限られた時間ですがよろしくお願いいたします。

館長から参加スタッフ紹介:副館長、担当課長、企画地域支援係長、企画地域係員。

「HITOTOWA」(注:鶴川図書館を民営図書館コミュニティにするための業務委託先)さんの2人。

企画地域支援係です。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。スライド2が目次。初めに、これまでの経緯、これからの方向性について、方向性の実現に向けて。分かりにくいところがあった。ここに至る経緯、前提のお話。近い将来に人口減少。税収減少、構造化。財政状況が厳しさを増します。選ばれる街として、公共サービス。将来につながる形に変えていく。スライド5、6図書館の貸し出し冊数。12年度に駅前、15年度に忠生図書館が開館した。貸出数は12年度をピークに減少。436万点だったのが、321万点で26%減少。中央図書館は43%減少。鶴川図書館は63%減少。

スライド7:このような状況を踏まえまして、将来にわたるサービス提供のため施設再編。利用減少の場合は施設老朽化を見ながら再編。中央とさるびあ、鶴川と駅前は近い。8館のうち30年以上が5館、50年以上が2館。すべての図書館をこれまで同様に維持できないと判断した。図書館にかけるお金を増やすことは困難。修繕や職員人件費にお金が行って、本を買うお金が無くなりかねない。本の購入などを向上させたい。

鶴川図書館は大幅な減少傾向。団地自体の老朽化が進んでいる。駅前図書館との集約を検

討。たんに図書館をなくすのではなく、代替機能の検討を通じて新たな価値をつくりたい。21年2、3月にワークショップ。対話やワークショップを通じていただいた意見をまとめた。

スライド9:繰り返しにはなりますが、厳しい環境下でも地域の情報拠点、デジタル社会ネットワーク、ますます多様化する市民の皆さまのニーズにお応えする。

2019年2月、市立図書館の在り方見直し方針、20年2月に効果的効率的な図書館サービスのアクションプランをつくった。建て替え計画の進捗に応じて集約を進める。建て替えが長期化する場合には代替機能の配置などを先行。2017年8月の請願、アクションプランの見直し請願を受け止めた。

次のスライド、再編に関するアンケート。2年前に隣の会議室で開いたワークショップ。今後も継続してほしいこと。

コミュニティ機能を併せ持つ市民協働型の運営へと転換していくことを、重点事業として決定。スライド11、これまでの地域との対話状況のまとめ。のべ85回、370人の方に説明や意見交換。声としては…図書館システムの接続と司書の配置。もっと座れるスペースが欲しい、子どもたちの居場所。体感では、コミュニティ機能が約半数と受け止めた。鶴川地区協議会から、コミュニティ機能を高めるなら協力したいと申し出がありました。

再編後の姿について検討してきた。鶴川地区はNPO法人など地域活動が盛ん。図書提供機能をどのように強化できるか、コミュニティ機能の継続と強化、多様な地域ニーズへの対応力強化の3点。一人でも目的がなくても立ち寄れる。図書コミュニティ施設がよいのではないかと考えました。

スライド14, 15:いただいたご意見や、名店街内にあるという立地を生かし、町のアーカイブ記録マップ作り。おすすめスポットや思い出の場所。大きな地図に書き込みました。70名の方に参加していただき、100カ所以上のスポット。今後も実施してほしいとお褒めをいただいた。

スライド 16:本に触れ合う場と機会を継続的に提供、気軽に参加できる地域のコミュニティの場をつくる、地域のやってみたいを実現する、の3点

スライド 17:5点。民設民営の地域施設へ転換。物販飲食など、商店街隣接の利点を生かす、コミュニティ機能、町田市が運営費を補助、…

スライド 19:コミュニティ施設への転換後のイメージ。地域が本を選んで買える。市立図書館の蔵書は置かない。取り寄せできる。ゆとりある座席を用意する。写真中心にお示したものの、参考程度に。

スライド 21:鶴川図書館は居心地が悪いので座るスペースが欲しい、子どもたちの居場所になると良い。来年度、施設改修でコミュニティ機能強化。滞在しやすい空間にする。ワークショップなどを通じて地域の皆さんと一緒に作る。スライド22はあくまで参考。運営団体は今後検討。地元の方に担っていただくのがよい。図書部とコミュニティ部をつくり、事務局部分を作る。地域の団体機能、URと協力。

スライド 23:2033年度までのスケジュール。公立図書館は25年度までで終了。このスケジュールは、見直しがありうる。鶴川地区協議会と協議をしながら準備会を立ち上げる。

質疑の時間。

(Q) (初めて参加、Kです。聞き漏らした。運営団体の可能性として商店街。そのほか、どのような方をおっしゃったのか？

(A) 運営団体の構成メンバー、スライド22番。理事会には鶴川地区協議会、町内会自治会、商店会。その下の図書部、コミュニティ部、事務局も設けたい。右下の部分に地域の団体や企業 UR、図書コミュニティを盛り上げていきたい。

(Q) 6丁目団地の Y。はじめて参加。質問が根本的になるかも。老朽化というが、鶴川団地の図書館の維持費が他の図書館に比べてどうなのか。駅前や他の図書館と比べて利用が多いのでは。Aコストの部分、鶴川図書館の行政コスト年間6千万。駅前は1億5千万。中央図書館は5億4千万。直接ご質問に対応する資料がないが、面積1平米あたり鶴川は23万円。8館のなかでは最大。駅前は11万。中央は9万円。

(Q) 面積当たりでなく、利用数当たりのコストを出してほしい。狭くなれば効率が悪くなるのはわかりますが。

(A) 貸し出し1点あたり、鶴川374円、駅前344円、中央が634円。

(Q) 2021年度駅前の43万点にたいして鶴川は16万点。単純にみると、今の数値にならないような気がします。私の勘違いかな。今の数値はどこから？

(A) 町田市の行政シート。

(Q) 16万2千と43万6千を使いました？

(A) おっしゃる通りでした。その数字を割って。

(Q) 大蔵の I。初めて。図書館の民営化。町田で司書教諭は制度化されていない。各図書館の司書の役割大事。司書の身分はどうなるのでしょうか？今でも非正規の方が多い。公務員で身分が安定した方がいい。本の質を上げるという意味で考えていただきたい。

(A) ありがとうございます。これから、図書館司書が保証されることがない。資格を持っているが、お仕事をしていない方がそれなりにいるのでは。2年前にワークショップをやった時に、もと23区で働いた司書という人がいた。選書のノウハウ、お客様からの問い合わせ。民営化したあとも定期的に話し合いをしていく必要がある。駅前は指定管理、5階のAVカウンターは業務委託。毎月、会議を持っている。図書を提供する機能。

(Q) 団地に住んでいる M と言います。20年余り図書館を利用。年寄りなのであまり遠くに行けない。現実には引きこもり。買い物・散歩、週一ぐらい図書館。今の図書館の規模よりも小さくすべきでない。皆さん図書館行政のプロでしょう。全面的に民間委託とんでもない。住民税を払って、得られる行政サービスは図書館と清掃ぐらい。後は行政サービスはない。前向きに頑張ってください。皆さんが提起してくれたら協力しますよ。(会場拍手)

(A) スライド7、将来にわたりサービスを提供。毎日来てお過ごしいただける場所になっていきます。

(Q) 鶴川図書館でおはなし会ボランティアの Sh。コロナで中断。やっとおはなし会が試行。ボランティアは公共図書館だからやっている。民営化されると人が抜けていく不安を覚えます。スライド

の写真を見て、泣きたい気持ちになりました。こんなに本を減らして、図書館は無理。図書館とコミュニティ施設は無理。分けたスペースを作っていたきたい。この前の図書館協議会。年に数回、1月16日の市民アンケートの結果を見せていただいた。公表してもよいと言われたが、ここでは配布してはいけないと言われた。鶴川図書館の総合満足度は8館のトップ。59.1%。便利、使いやすい、子供が小さいころから来ている。不満の内容は、図書館がなくなる。本の種類が少ない。町田の図書購入費は東京都で最低の、ひとり80円。古い本を新しくしていただきたい。来館者と貸出冊数の割合。86.6%は8館の中でそんな色がない。資料を見られたい方がいたら後でお渡しします。建て替えが再編の好機だとおっしゃったけれど、建て替えがあれば老朽化にとっては大丈夫。町田市が0~14歳の転入が全国で2位だった。街づくりのやり方では人をもっともっと呼ぶことが出来る。鶴川図書館を市立でなくしたら取り返しがつかない。少しの本でやっていくというが、本が少ないと人は来ない、新しい本がないと人は離れる。大切な図書館を市立で残してほしい。

(A) まずアンケートの満足度、利用者の方に12月にアンケート。満足やや満足が9割を超えた。公立図書館を維持、公共施設の再編をやらなくてはならない中で、進めていく。今後5年で建て替え。我々としても、機能転換の好機ととらえてというのが本日の趣旨。

(Q) T: 2 点ございます。今回の実質上の廃館、人口が減っている、財政難と言っている。じつは町田の人口は増えている。情報誌によれば14歳以下の人口は全国でもトップレベルで増えている。予測と現実とは違っている。財政難で鶴川図書館がコスパが悪いような言い方だった。中央図書館5.4億の、鶴川は9分の一だが、貸し出しは中央の5~6分の一。コスパが非常にいい。さっき言ったことは間違いですよ。

2点目、文科省が何年も前から子供の読書活動の推進計画を出して数年前に閣議決定をした。それによると、市町村は図書館を充実しなくてはならない。いま第五次のパブリックコメント。ユネスコが22年に公共図書館宣言。図書館を使うのは市民の権利。これを拡充しないといけない。お金がないからといって、鶴川を閉めるのは逆じゃないですか。わざわざ住宅街のど真ん中にある図書館を閉めるのは考え方として間違っている。(拍手)

(A) 鶴川図書館のコストパフォーマンス。中央館のコストが高くなる。借りられてない本、調べ物の本がある。2点目の子ども読書の推進については、町田市でも推進計画を作って進めている。

(Q) 金井6丁目の K: 27年目。鶴川図書館にお世話になっている。駅前に行かないのは車が渋滞で時間かかる。他は駐車サービスがあるが、駅前自己負担。ゆっくりできない。公共図書館なのに車やバスの人自己負担。なので、鶴川図書館を使ってきた。駅前図書館に駐車サービスを付けてもらうことは可能でしょうか？

(A) いただいたご意見を検討課題の一つとさせていただきます。ありがとうございます。

(Q) Sa: 初めに大声を出して申し訳なかったのですが、市民に録音をさせない。録音をするのは市だけ。なのに、名乗らせるプライバシー侵害をしている。対等の関係づくりのために配慮してほしい。施設の老朽化で立て直しは分かるが、ついでに再編成というのは理解できない。廃止については論外。

町田市は、毎年何千万も、来る当てのないモノレールにお金をかけている。芹が谷公園の工芸

館を、平地に建てずに崩落の危険がある急斜面地に建てるといっているので問題になっている。民間委託の司書の下関の例、8団体と民営化して、結局直営に戻した。司書の人にまで喫茶室の受付をさせて、その抗議で大量にやめた。野津田公園のバラ広場をボランティアが管理していたが、その場所を市がテニスコートにするので移転した。管理も民間団体に委託したのでボランティアが抗議でやめた。失敗した場合には直営に戻すことを考えるのか。

2点目、司書が地域にいるから掘り起こしてと伺ったが、どの程度いるのか。レファレンスで里山の本を探していただいた。そういう力を持った人が、町田市の信頼関係に不安を持つ人がいる。八王子では市民をサポートにするので10年かけて、図書室を図書館に格上げした。そういう体制があるのか。

(A) 図書館を委託するわけではなくて、予約資料の受け渡しになっていく。やろうとしていることは先進的。スキルを持っているとか、業者としてやれるところに外注するのでなくて、地域活動が盛んな地域。多様な人がいるのでチャレンジととらえていただければいい。私はいま図書館にきて4年目。最初の年はカウンター業務を5階4階で行った。司書資格ない。コミュニケーションが大事。自分で言語化できないお客様もいる。そこを埋めていくのがコミュニケーション。経験で補えるところもあるが、コミュニケーション能力が大きい。レファレンスカウンターに引き継いだこともある。しかし95%は自分でやった。仮に司書がない状況になっても、中央館・地区館に電話で対応できる。

(Q) Sh と申します。図書館を守る運動をしています。係長の説明が分かりにくかった。鶴川図書館大好き！の会への説明会の時には、図書館を民営化するのではなく、図書館を廃止することだと言われた。図書館条例から外し、図書館法に拠らない、本が置いてあるコミュニティ施設を作るということだった。

先ほど、あたかも図書館の司書について話していたが、運営者が図書館でないのだから司書はいらないよねといったらおしまい。そこを誤解されるような今の説明は不親切ではないか。以前に説明を受けた町会長は、図書館はなくなるらないよ、よくなるらしい、そういうことを言っていた。先ほど係長は、図書館は知る権利を保障する施設とおっしゃっていたが、それをなくしてしまうということが、図書館でなくなるということだ。

(A) ありがとうございます、気を付けます。(会場笑)

(Q) 初参加 Sa: 祖父、母と三代で利用しています。いままでは公共図書館、これからは地域の人という。レファレンスは鶴川駅前へ行けという。遠い人、検索機が使えない人は困る。課題解決機能への支援について話を聞かせていただきたい。レファレンスで、コミュニケーション能力が大事と言っていたが、どうすれば利用者の時間が節約できるか。

(Q) Sa: 再編というより廃館ということだと私は思っているが、地域の情報拠点は数年しか持たないのでは。10年後、30年後にどうなるか。

(A) 図書館をそのまま残すのではなく、今受けているサービスが変わってくる。地域課題の解決は目標として掲げている。我々が想定している図書コミュニティ施設では、一緒になって課題の解決にも加わっていただく。

(Q) 広袴の K と申します。NHK の今朝の番組、指定管理者制度は給与水準が低い。私は三多摩の委託の図書館から来た、世田谷…川崎と使って、こっちに来てびっくりしたのは、こんな小さな図書館があるのかと。一人当たりの購入金額がほかの市町村と比べて極端に少ない。IT 化も大きい。後期高齢者から活字を奪うのは、町田の方針なのか。これから増えるのは高齢者。今まで通りの、知的な生活を営めるのか。

(A) 委託から指定管理に変換することは考えていない。業務の一部を委託する。高齢者切り捨ての意図ではない。

(Q) 真光寺に住んでおります Im と言います。民設民営の具体的な中身に関して、イメージがわきにくい。基金を市でご準備いただけるのでしょうか？民間からの持ち出しになるのか。例えば場所。今の施設よりも広くなるのか。民設民営になったときに、市がどういう縛りをかけてくるのか。安定性が懸念されるどころ。私の住んでいるのが、真光寺のレーベンス・マンション、市とのあいだにトラウマがある。マンションを売ったのが UR。その前に学校建設予定地があったのでここに入ったが、数年で撤回された。UR は、町田市が計画を撤回したから自分たちはどうにもならないと。市が市民団体を二階に上げてはしごを外さない保証が欲しい。

(A) 民設民営のイメージ。これから団体さんを立ち上げて意見交換していく。今調整中。

(Q) Y(2番目に発言した6丁目団地の人)：図書受け渡し機能を残す点はあるが、町田市の図書館のあるべき姿は？コンピューターでは、中央集権型からワークステーション型になった。今回は、中央集権型。私は町田市の図書館は分散型の施設配置にすべきだと思っているが、それに逆行しているように思う。いかがでしょうか？

(A) ご意見ありがとうございます。我々としては繰り返しのお話になってしまいますが、…再編を進めていく。

Y：答えが私が求めている内容ではないが。再編で、分散型にしていくのか、大きな図書館にしていくのか？

(A) 小さな図書館を増やしていく考えはございません。

Y：ぜひ再検討していただきたいと思います。最終的には何力所ぐらいにされたいのですか。

(A) 副館長：19年に図書館の目指す姿。4つの方向性。あらゆる市民が利用しやすく、子どもの読書活動、コミュニティ、地域課題への対応。老朽化、近接状況、現時点では小さい図書館を増やすという計画はありません。

最初におっしゃられた、みんなが使いやすい図書館、大きなビジョンの元に検討していただきたいと思います。

(Q) 今日、図書館を増やす説明だと思って来た。私は、町田市に分不相応な市庁舎、箱物行政を廃止してほしい。図書館をなくすなんて住民サービスの低下以外の何物でもない。昔住んでいたイギリスでは、歩いて通えるところに図書館。見習わないのですか？

(Q) ここに来ていない幼い子供たちを鶴川図書館に連れてきているお父さんお母さんの代弁。本を読むのが苦手な子でも、少しずつ好きになっていく。小さい子が図書館に行くと話が聞けると良いなど。駅前図書館のような大きな施設でも、後で子どもがやかましかったと言われる。広い部屋を用意していただけたら。

(Q) 広袴の Shi、前回に続き・・・03年おやじの会。住民との丁寧な説明。希望すれば、説明会をまた開いていただける？(A)はい。

Shi:核となる人に来てもらわないと。交流サロン、子どもの拠点、運営組織整備、団地の魅力化、地域の連携強化というアクションプランが2016年に出たのに出来ていない。検証して、なぜできていないのか。積み上げが必要。単に図書館でなく、地域の課題解決をするなら、耕して。この後、同じ考えの人がいたら意見交換をしましょう。

司会:ご質問をありがとうございました。今後の予定3月4日にイベント。本日は御参加いただきありがとうございました。(16時22分、散会)

以上